

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト		
事務事業名	ジェティーストの撤去				連絡先	052-654-7836
目的	対象(誰・何を)	ジェティースト			事業期間	平成29年度～令和3年度
	意図(どういふ状態にしたいか)	防潮機能を維持しながら撤去します。				
概要	耐震性能が不足しているジェティーストの撤去工事を実施します。				根拠法令等	
令和元年度の実施予定	令和2年度からのジェティーストの撤去工事に向け、周辺事業者等との調整を実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	令和2年度からの撤去工事に向け、周辺事業者等との調整を実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	7,226	5,019	0	4,082	
人件費	千円	-	-	917	917	
合計	千円	7,226	5,019	917	4,999	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	3	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗状況(全3工程) (進行管理型)	目標			2		3	①基本設計②実施設計③撤去工事	
	実績	1	2	2				
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
事業進捗状況(元年度)								
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	目標どおり実施しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	○	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？						
	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？						
有効性	○	ジェティーストの撤去により、一般来港者や周辺事業者の安全の確保に貢献します。						
	○	期待どおりの成果が得られているか？						
効率性	○	工法を比較検討し、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、一般来港者や周辺事業者の安全確保のため事業を進める必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
一般来港者や周辺事業者に配慮しながら、工事を施工する必要があります。			令和3年度しゅん工を目的に撤去工事を実施します。